

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
《あ行》 育成単層林	森林を構成する樹木の全部または大部分を一度に伐採し、そのあとに一斉に植林を行うこと等により。樹齢や受光のほぼ等しい樹木から構成されている森林。
育成複層林	人為によって保育などの管理がされた森林のうち、樹齢や樹高の異なる樹木によって構成された森林。
美しい ^{もり} 森林づくり推進国民運動	国土の3分の2を占める森林を適切に整備・保全し、緑豊かな国土を次世代に引き継いでいくことを目指して、平成19年2月に、閣僚会合を設置して政府一体となって「美しい森林づくり推進国民運動」として展開することを決定。6年間で330万haの間伐実施等を目標に掲げ、国民の幅広い協力のもと、国産材の利用、地域づくり、森林づくりへの参画を進めるべく全国各地で運動を展開。
枝打ち	林内の光環境の改善、良好な景観の保持及び優良材の生産等を図るために、樹木の枝を落とす作業。
NPO(法人) (Non-Profit Organization)	営利を目的としない民間の組織や団体。会費、事業収入、民間の寄付、行政の補助金等を財源にして、ボランティアの労働力などで運営を行う。活動領域は福祉、環境からまちづくりまで幅広く、行政とは独立して自主的に社会貢献活動を行うなど市場でも政府でも十分に供給できないサービスを提供しており、新たな公益活動の担い手として注目されている。また、特定非営利活動促進法に基づき、法人格を取得し、法人として、銀行で口座を開設したり、事務所を借りるなどの行為を法人の名で行えるNPO法人(特定非営利活動法人)と任意団体等を含む広義のNPOと区別している。
温室効果ガス	地球から宇宙への赤外放射エネルギーを大気中で吸収して熱に変え、地球の気温を上昇(地球温暖化)させる効果を有する気体の総称。代表的なものに二酸化炭素(CO ₂)、メタン(CH ₄)、一酸化二窒素(N ₂ O)等がある。これらの排出には人間の生活・生産活動が大きく関与している。
《か行》 皆伐	一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採する主伐の一種。
間伐	育成段階にある森林において樹木の混み具合に応じて育成する樹木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促進する作業。この作業により生産された丸太が間伐材。一般に、除伐後から、主伐までの間に育成目的に応じて間断的に実施。
機能類型	森林をそれぞれが有する諸機能のうち、第一に発揮すべき機能によって、「水土保持林(国土保全タイプ、水源かん養タイプ)」、「森林と人との共生林(自然維持タイプ、森林空間利用タイプ)」及び「資源の循環利用林」の3機能に区分される。(別途説明)
木の文化を支える森づくり	地域の伝統行事、伝統工芸、歴史的木造建築物等の継承に貢献するため、地域の協議会等と森林管理署等との協定締結により、国民参加による森林づくり活動を推進する制度。
京都議定書目標達成計画	「地球温暖化対策推進法」に基づき、京都議定書の6%削減約束を確実に達成するために必要な措置を定めたもの。我が国の森林経営による吸収量として1,300万炭素トン程度の吸収量を確保することを目標と位置付けたほか、温室効果ガスの排出源対策、森林整備等の吸収源対策、京都メカニズムの活用など、目標達成のための対策・施策などを明らかにしている。

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
郷土の森	地域における象徴としての意識を有する等により、森林の現状の維持について地元市町村の強い要請がある森林を保護し、併せて地域の振興に資することを目的として設定する保護林。
溪間工	土石流の発生等により荒廃した溪流を安定させ、また荒廃を未然に防止して森林を保全するとともに、下流域への土砂の流出を防ぐことを目的として溪流内に施工される治山施設。
境界巡検	特に侵害のおそれがある境界にある境界標(第一種境界標)について、一年に1回以上境界標の異常の有無を点検する作業。
境界巡視	第一種境界標以外の境界標(第二種境界標)について、一年に1回以上の割合で林道・歩道等から国有林野の隣接地の伐採・開発等の状況を把握する作業。
高性能林業機械	従来のチェーンソーや集材機等と比べて、作業の効率化や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。主な高性能林業機械は、フェラーバンチャ、スキッダ、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、タワーヤーダ、スイングヤーダ。
国土保全タイプ	水土保持林の一つで、土砂の流出・崩壊等の防備、気象害の防備及び生活環境の保全等安全で快適な生活環境と国土基盤の保全・形成に係る機能を第一に発揮させるべき森林。
国有林防災ボランティア制度	国有林内等における山地災害等に係る情報の収集に当たって地域の森林土木技術者等を「国有林防災ボランティア」として活用することにより、地震、台風等の大規模災害等に対する、より迅速かつ円滑な災害対策の実施及び地域住民の意識の向上を図る。
国有林モニター制度	一般から国有林野の管理経営に関するモニターを公募し、国有林野事業の運営等に関する提供とこれに対する意見等の聴取を行い、これを国有林野の管理経営に反映させ、開かれた「国民の森林」にふさわしい管理経営の推進に資することを目的とした制度。
公有林野等官行造林(官行造林)	国と森林の土地所有者とが伐採時に得られる収益を一定の割合で分け合う契約を結び、国が植栽や保育等の事業を行う制度。
国有林野の管理経営に関する基本計画(管理経営基本計画)	国有林野の管理経営に関する法律第4条の規定に基づき、全国森林計画との調和を保ち、農林水産大臣が全国の国有林野の管理経営について5年ごとにたてる10年間の計画
《さ行》 作業道	林道を補完し、除間伐等の作業を行うために作設される簡易な構造の道。
山腹工	土木施設(土留工、水路工等)の設置等により、斜面の崩壊及び拡大崩壊の防止等斜面の安定を図り、植生の導入及び森林造成を目的とする工種。
資源の循環利用林	環境負荷の少ない素材である木材等林産物を安定的かつ効率的に供給する観点から木材生産等の産業活動を行う森林。
自然維持タイプ	人と森林との共生林の一つで、保護林、原生自然環境保全地域、自然公園特別保護地区等自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全の機能を第一に発揮すべき森林。
下刈	植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業。一般に植栽後の数年間、毎年、春から夏の間実施。

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
市町村森林管理委員会 (仮称)	岐阜県の取組の一つとして設置を進めている組織であり、市町村単位で地域が抱える課題に的確に対処するため、森林所有者などの森林・林業関係者だけでなく、地域住民、NPOなど地域の様々な立場の人々の参加・協力のもと、地域が主体となって健全な森林づくりに継続的に取り組む地域密着型の森林づくり組織の名称。
集成材	板材(ラミナ)を繊維(木目)の方向が平行になるように、長さ、幅、厚さの各方向に接着した製品。柱材等の構造用集成材と階段材、床材等の造作用集成材に大別。
主伐	次の世代の森林の造成を伴う森林の一部または全部の伐採。
除伐	育成の対象となる樹木の生育を妨げる他の樹木を刈り払う作業。一般に、下刈を終了してから、植栽木の枝葉が茂り、互いに接し合う状態になるまでの間に数回実施。
植物群落保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する団体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術建機優等に資することを目的として設定する保護林。
針広混交林	針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。
人工造林(植林)	苗木の植栽、種子のまき付け、さし木等の人為的な方法により森林を造成すること。
人工林	人工造林により造成した林分。
森林環境教育	森林内での多様な体験活動などを通じて人々の生活や環境と森林との関係について学ぶことにより、「地球温暖化防止」など森林の多面的機能や森林の整備と森林資源の循環利用の必要性等に対する理解を醸成するとともに、子供達の「生きる力」を育むための取組み。
森林吸収源対策	京都議定書に定められた日本のCO2削減量6%のうち、3.8%を森林で削減するため、間伐等の森林整備を推進し、森林経営対象森林の割合を増やす対策。
森林空間利用タイプ	森林と人との共生林の一つで、スポーツやレクリエーション、教養文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市周辺等の風致の維持等の機能を第一とする森林。
森林生態系保護地域	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的として設定する保護林。
森林整備	森林施業とそのために必要な施設(林道等)の作設、維持を通じて森林を育成すること。
森林生物遺伝資源保存林	森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源で、将来の利用可能性を有するものの、安定的かつ恒久的な保存を図ることを目的として設定する保護林。
森林施業(施業)	目的とする森林を育成するために行う造林、保育、伐採等の一連の森林に対する人為的行為を実施すること。
森林と人との共生林	生物多様性の保全又は森林とのふれあいを通じた森林と人との共生を第一とする森林。
森林のもつ多面的機能	地球温暖化の防止、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承、木材の生産等の森林がもつ多面にわたる機能。

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
森林・林業基本計画	「森林・林業基本法」の基本理念の実現に向けて、森林及び林業に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、同法に基づき策定した計画。森林及び林業施策の基本方針、森林のもつ多面的機能の発揮並びに木材の供給及び利用に関する目標、政府が講ずべき施策を明記。
森林・林業基本法	森林のもつ多面的機能の発揮、林業の持続的かつ健全な発展を基本理念とする政策を国民的合意の下に進めていくため、その実現を図る基本的事項を定めた法律。平成13年7月にそれまでの「林業基本法」を改正して成立。
水源かん養タイプ	水土保持林の一つで、ダム上流や簡易水道等の利水施設の水源など国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給と洪水の緩和などの機能を第一に発揮すべき森林。
スイングヤーダ	建設用ベースマシンに集材用ウインチを搭載し、旋回可能なブームを装備する集材機。(swing:回転する、yarder:集材機)
水土保持林	災害に強い国土基盤の形成及び良質な水の安定供給を第一とする森林。
スキッド	装備したグラブプル(油圧シリンダーによって動く一対の爪)により、伐倒木を牽引式で集材する集材専用トラクタ。(skid:引きずって運ぶ)
生物多様性	生物の間に見られる変異性を総合的に指す言葉で、生態系(生物群集)、種、遺伝子(種内)の3つのレベルの多様性により捉えられる。従って、生物多様性の保全とは、様々な生物が相互の関係を保ちながら、本来の生息環境の中で繁殖を続けている状態を保全することを意味する。
全国森林計画	森林法第4条の規定に基づき、森林・林業基本計画に即し、農林水産大臣が閣議決定を経て5年ごとにたてる15年間の計画
漸伐	人工林及び天然林において天然更新に必要な上層木を残して、森林を構成する林木の50%程度を一度に伐採し、人為あるいは天然力により複数の樹冠層を構成する森林を成立させる伐採方法。
素材生産	立木を伐採し、枝葉や梢端部分を取り除き、丸太にする工程。
《た行》 択伐	森林内の樹木の一部を抜き伐りする主伐の一種。
単位流域	治山工事を実施する際の単位となる数百ha程度の地域。
タワーヤーダ	架線集材に必要な元柱の代わりとなる人工支柱を装備した移動可能な集材車。
地域管理経営計画	流域ごとに国有林野の管理経営に関する事項について、森林管理局長が定める5ヵ年計画。
長伐期施業	通常の主伐林齢(例えばスギの場合40年程度)のおおむね2倍に相当する林齢を超える林齢で主伐を行う森林施業。
地球温暖化防止森林吸収源10ヶ年対策	地球温暖化対策推進大綱に基づき、我が国の森林による二酸化炭素供給量を確保することを目的に、平成14年12月に農林水産省が策定した、森林整備・保全や吸収量の報告・検証体制強化等に関する10年間の対策
つる切	育成しようとする樹木に巻き付くつる類を取り除くこと。通常、下刈を終了してから、育成使用とする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
低コスト・高効率作業システム	森林施業を効率的かつ効果的に実施するため、作業路網と高性能林業機械を組み合わせた作業システム
天然更新	植林等の人為によらずに森林の造成を行うこと。自然に落ちた種子の発芽や樹木の根株から萌芽等による方法がある。必要に応じて、ササ類の除去等稚樹の成長を助ける作業を行う。
天然生林	自然の推移に委ね、主として自然の力を活用すること(天然更新)により、保全・管理されている森林。
天然林	人の手をほとんどかけていない自然の森林。母樹から地表へ種子が落下、着床した後、発芽・生長してできる森林。
特定動物生息地保護林	特定の動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資することを目的として設定する保護林。
特定地理等保護林	我が国における特異な地形、地質等の保護を図り、併せて学術研究等に資することを目的として設定する保護林。
《な行》 日本百名山	登山家、文筆家であった深田久弥の随筆「日本百名山」に記された山。 品格・歴史・個性を兼ね備え、基本的に標高1,500m以上の山という基準で選ばれている
《は行》 ハーベスタ	伐採、枝払い、玉切り(材を一定の長さに切りそろえること)の各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。(harvest: 収穫する)
バイオマス	「再生可能な生物由来の有機性資源で、化石資源を除いたもの」。バイオマスは、地球に降り注ぐ太陽のエネルギーを使って、無機物である水と二酸化炭素から、生物が光合成によって生成した有機物であり、ライフサイクルの中で、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生可能な資源である。
伐期	主伐が予定される時期。
フェラーバンチャ	樹木を切り倒し、それをつかんだまま、搬出に便利な場所へ集積できる自走式機械。(fell: 伐倒する、bunch: 束ねる)
フォワード	玉切りした材をグラブプを用いて荷台に積載し、運ぶ集材専用トラクタ。(forward: 運送する)
複層伐	森林を構成する林木を部分的に伐採し、人為により複数の樹冠層を有する森林へ誘導する伐採方法。上層木の全面的な伐採もいう。
ふれあいの森	自主的な森林整備活動を行うボランティア団体等と森林管理所等との協定締結により、森林整備を行う制度。
プレカット	住宅等の建築に必要な柱、梁などの部材を工場であらかじめ加工すること。
プロセッサ	伐採木の枝払い、玉切りと玉切りした丸太の集積作業を一貫して行う自走式機械。(process: 加工する)
分収林制度	森林の土地所有者と造林又は保育を行う者の2者、あるいは、これらに費用負担者を加えた3者で契約を結び、植栽や保育等を行い伐採時に得られた収益を一定の割合で分け合う制度。分収林は、植林の段階から契約を結ぶ「分収造林」と育成途上の森林を対象に契約を結ぶ「分収育林」に大別。

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
保安林	水源のかん養等特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林。伐採や土地の形質の変更が制限される。
保育	植栽終了後、育成の対象となる樹木の生育を促すために行う下刈、除伐等の作業の総称。
法人の森林	一般企業等が社会貢献活動としての森林づくり、社会貢献の場としての森林づくりを通して、国土保全、森林資源の造成を目的として整備を行う森林。
保護林制度	原始的な天然林や、貴重な動植物の保護、遺伝資源の保存等を目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、森林を保護する国有林野事業の制度。森林生態系保護地域、植物群落保護林等。
保護林モニタリング調査	保護林の設定目標に照らした機能評価に必要なデータを収集し、個々の保護林の現状に応じたきめ細かな保全・管理の推進に資することを目的とした調査
《ま行》 緑の回廊	保護林同士をつなぎ、いろいろな野生動植物が自由に行き来できる生活の場を広げるなど、貴重な森林生態系を守るために作られた空間(通り道)。
民有林	国有林以外をいい、個人、会社、社寺等が所有する私有林、都道府県、市町村、財産区等が所有する公有林に区分される。
《や行》 山元立木価格	立木の状態で樹木の販売価格。一般には、丸太の市場価格から、伐採、搬出等に必要な経費を控除して計算された幹の材積当たりの価格。
遊々の森	学校等と森林管理署等との協定締結により、様々な体験活動の場として国有林野を利用する制度。
《ら行》 流域管理システム	流域を基本的な単位として、その流域内の市町村、林業・木材産業等の様々な関係者による協議・合意の下で、森林整備から木材の生産、加工、流通にわたる川上から川下の連携を進め、民有林と国有林を通じて適切な森林整備と林業、木材産業の活性化を総合的に展開しようとする
流域森林・林業活性化センター	流域森林・林業活性化協議会における関係者間の調整、合意形成の促進等を通じ、森林の流域管理システムを推進することを目的として設けられた組織。流域内の市町村、林業、木材産業の関係者等で構成。
立木	土地に生育する個々の樹木。
林家	林地の所有、借入などにより森林施業を行う権原を有する世帯。
林業事業体	他者からの委託または立木の購入により造林、伐採などの林内作業を行う森林組合、素材生産業者など。ただし、2005年農林業センサスでは、「林業事業体」という区分はなく、委託を受けて造林・保育を行っている、委託を受けて200m ³ 以上の素材生産を行っているものについては、「林業経営体」としている。
臨時伐採量(臨伐) <small>りんぱつ</small>	公用、公共用又は公益事業の用に供するための木竹の伐採等で、国有林野施業実施計画において伐採箇所として定められた箇所以外で行うもの。
林地残材	立木を丸太にする際に出る枝葉や梢端部分、森林外へ搬出されない間伐材等、通常は林地に放置される残材。

森林計画等の用語解説

(五十音順)

用 語	解 説
林木遺伝資源保存林	主要林業樹種及び希少樹種等に係る林木遺伝資源の保存を図ることを目的として設定する保護林。
林齢	森林の年齢。人工林では、苗木を植栽した年度を1年生とし、以後、2年生、3年生と数える。
レクリエーションの森	国有林野のうち、人と森林とのふれあいの場として、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的に指定した森林。①自然休養林、②自然観察教育林、③風景林、④森林スポーツ林、⑤野外スポーツ地域、⑥風致探勝林等に分類。
列状間伐	選木基準を定めずに単純に列状に間伐する方法。高性能林業機械の導入による作業効率の向上、選木作業の省力化等による間伐経費の削減に有効な手段。